



--令和 7 年 6 月 7 日(土)--

プランターづくりで 花いっぱい 2025 スタート



この日、日の丸会館駐車場で、「花いっぱい 2025 事業」の花プランターづくりが行われました。地下鉄栄町交差点を美しい花々で彩り、駐輪防止や地域に潤いを与える元気プロジェクト実行委員会(南口恒之委員長)が実施するイベントです。

参加したのは実行委員など 39 名と地域の子供たち 14 名です。まず、市川造園の市川秀一社長から

プランターづくりのコツ、花苗の配置、植え方や水やりの仕方、花がらの取り方まで丁寧に教えていただきました。参加した子どもたちも真剣に聞き入り、やる気満々です。苗の色合いを工夫しながら植えていき、1 時間もかからずに 100 個余りのプランターが出来上がりです。

出来上がったものは、トラックに載せて交差点まで運び、たっぷり水をやります。交差点は、ちょうど連合町内会の 4 つの分区を区画されており、それぞれの 4 つ角を各分区が受け持って、秋まで施肥、水やり、花がら取りなどの手入れをして美しさを保ちます。

花プランター設置からが本番です。地域の町内会、企業の連携で世話をしながら、花いっぱいがつぐむ地域の絆づくりが始まります。



▲手際よく運んだあと、たっぷり水をやる

--令和 7 年 6 月 5 日(木)--

百合が原公園で演歌体操・盆踊り 一味違う公園散策に

6 月の健康ウォーク歩こう運動の行先は、百合が原公園です。この日の参加者 27 名は、東 15 丁目屯田通りを歩いて百合が原公園に向かいました。曇り空でしたが、気温はあまり高くなく、足取りも軽く 40 分ほどで公園に到着しました。

公園では、ユリや藤など色とりどりの花が咲く中をのんびり散策してから芝生広場に向かいました。

ここでのプログラムは、氷川きよしの「ズンドコ節」で演歌体操や「子ども盆踊り唄」、「北海盆踊り唄」、「ダンシングヒーロー」の盆踊り



▲芝生の上でのびのび演歌体操



です。「サッポロスマイル体操」の脳トレもあり、広々として緑あふれる芝生の上で、のびのびと踊る演歌体操や盆踊りをみなさん楽しそうに踊っていました。いつもとは一味違うウォーキングになりました。

今後の健康ウォークですが、7 月、8 月、熱中症のリスクもありますのでお休みです。9 月に再開しますが、開催日や行先は 8 月頃にお知らせいたします。どうぞお楽しみに！

--令和7年5月30日(金)--

地域で頼りになるのは交番！

栄東交番連絡協議会

交番は、地域住民に最も身近な警察組織として、安全安心の要です。この日、栄東交番連絡協議会が日の丸会館で開催されました。これは、地域の身近な犯罪・事故・災害等の未然防止、被害の拡大防止や犯罪検挙などを住民の立場に立って行うため、住民意見は要望等を聴き、交番と地域が協力して安全な地域を目指そうという目的で組織された協議会です。

この日、菊地裕嗣・栄東連合町内会長をはじめ、9名が東警察署長から委員に委嘱されました。まず、組織犯罪対策係の警察官から、最近の特殊詐欺事件に関する情報提供と注意喚起がありました。最近、東区の60代男性が知り合った女から暗号資産投資を勧められ、4億円超をだまし取られる事件も発生し、委員の中にも詐欺と思われる電話やメールを受けた方もおり、高齢者が増加する中、切実な問題であり、地域で共有すべき情報の提供がありました。



続いて、交番管内での交通事故や刑法犯発生状況等の情報提供がありました。交通事故では、昨年62件の人身交通事故があり、人と車の絡む事故が10件ありました。事故は、12時から14時の時間帯が14件、夕暮れ時の16時から18時が13件と多いのが特徴で、子どもが負傷した事故も1件あり、昨年交通事故2000日を達成したばかりですが、交通安全に対して気を抜いてはならない発生状況と言えましよう。刑法犯では、管内で昨年197件の事件がありましたが、自転車盗が77件もあり、自転車を守るために2ロックや防犯登録の大切さについて注意喚起がありました。窃盗犯では46件発生していますが、万引きが22件と多いのが特徴です。

情報提供後、委員が日ごろ疑問に感じている点などをお話しし、交番側からは地域の意見をしっかりと東警察署にも伝え対応していきたいとの話がありました。日ごろから地域の安全を守っていただいている栄東交番の皆さんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。



清掃・交通安全で表彰 ～北興町内会・高橋さん～

ごみステーションの維持管理や交通安全活動は、栄東地区の町内会活動では欠かせない大切な活動です。このほど、北興町内会の高橋賢治・環境部長に東区ボランティア実践者表彰と札幌市交通安全運動推進委員会から感謝状が贈呈されました。高橋さんは、同町内会の環境副部長を7年務めたのち、平成30年4月から現在に至るまで、環境部長を担い、北興町内会の環境保全のリーダーとして、ごみ出しルールの徹底を図り、ごみステーションの良好な維持管理に今なお尽力されています。

また、平成29年4月から、交通安全指導員に就任し、夏の暑さや冬の厳しい寒さの中、栄町小学校の児童の登下校の見守り、交通安全指導に従事され、本年3月までの8年間、交通安全に多大な貢献をされてきました。

こうした活動が評価されてこのたびの表彰に至ったものです。高橋さんの永年のご貢献に対して、この場をお借りして感謝申し上げます。こうした地道な活動が栄東地区の環境維持や安全安心な暮らしを支えているということをお忘れではないと言えましよう。



不審者情報への 地域一丸での対応に感謝



東警察署から、「6月18日午後3時55分頃、札幌市東区北37条東12丁目付近路上において、刃物のような物を持った不審者が目撃されました」との情報が配信されました。

これを受けて、栄町小中学校周辺では、登下校時に栄東交番のパトカーをはじめ、保護者はもちろん、栄東地区の青パト隊や地域の方々が一丸となって、小中学生の登下校を見守りました。

「機会がなければ犯罪なし」と言われますが、地域の見守りは、監視性を高めて犯罪を抑止することが知られています。危機に際し、迅速に行動を起こす栄東地区での活動は、地域の絆の強さを証明していると言えましよう。

今回の活動に参加いただいた、保護者、教職員、地域の皆様に厚くお礼申し上げます。

▼パトロールする青パト車両



▲集団下校をする児童